

2025（令和7）年度 補助事業実績報告書（案）

事業名 （主管名）	運営研修会兼事務局員研修会 高崎ユネスコ協会
趣旨・目的	本研修会は、各ユネスコ協会支部の組織や活動等の充実と発展に向けて、運営に関する現状や課題について協議する。今年度は、国内委員の体験、各協会の組織や活動のアンケート調査のまとめ、会員確保の実践などの発表を通して、少子高齢化や生き方の多様化、デジタル化の下での持続可能な組織や活動などの在り方について情報共有を行う。
日時	2026（令和8）年1月25日（日） 13:00～15:00
場所	高崎市中央公民館 高崎市末広町27
参加対象 ・参加者数	県内各ユネスコ協会の会員及び事務局員等 37名
事業内容 ・方法	<p>*ユネスコの歌 高崎市少年少女合唱団</p> <p>1 開会行事（開会のことば） 13:00～</p> <p>① あいさつ 群馬県ユネスコ連絡協議会副会長 中村 利光 高崎ユネスコ協会会長 串田 昭光</p> <p>② 来賓祝辞 高崎市民部部長 藍 美香 様</p> <p>2 事例発表 13:10～</p> <p>① 日本ユネスコ国内委員の体験 前日本ユネスコ国内委員（高ユ協副会長） 松本 千恵子</p> <p>② 各ユ協のアンケート調査結果・分析 高ユ協理事 峯岸 弘和</p> <p>③ 会員確保のための実践 高崎ユネスコ協会会長 串田 昭光</p> <p>3 研究協議・情報交換 13:55～</p> <p>① 趣旨に関わる各ユ協の取組・発表、情報交換等</p> <p>② 協議・質疑応答、その他</p> <p>4 閉会行事（閉会のことば及び諸連絡） 14:55～</p>
期待される 事業の効果	<p>○前日本ユネスコ協会国内委員（令和3年12月1日～令和6年11月30日）の体験報告から、国内委員会の理解と共に、松本委員の並々ならぬ責務遂行と民間ユネスコの活性化に向けての提言があり、ユネスコ精神を広めていく取組みがうかがわれた。</p> <p>○アンケート調査では、「会員・補助金・事業内容・組織拡充等について」、「現状と今後の方策」の観点から2022年度と今年度との比較検討をパワーポイントで説明し、その結果を基に研究協議や情報交換への大きな基礎材料となった。</p> <p>○「会員・組織の拡充に向けた事例」では、高ユ協の取組を会員の推移と共に組織的な活動を通して持続していく方向性が見られた。</p> <p>○研究協議・情報交換では、各ユ協から、活動における現況と課題について活発な意見や情報交換が見られ、今後のユネスコ協会の運営の在り方や方向性の示唆が得られ、持続可能な社会の担い手としての民間ユネスコの存在意義と支援の役目を確かめられた。</p>
その他	・アンケートへのご協力ありがとうございました。 ・参加費 無料